

令和８年度第１回防府市環境審議会 会議概要	
1 開催日時	令和８年７月２４日（金） 午前１０時３０分から午前１１時５０分まで
2 場 所	防府市役所 本館３階共用会議室３Ｃ３Ｄ３Ｅ
3 出席者	【委員】 中尾委員（会長）、今井委員（副会長）、山縣委員、若林委員、高沢委員、田中委員、岡村委員、小松委員、橋口委員、山田委員、弘中委員、藤井委員（欠席委員：今村委員、佐賀委員、藤野委員、阿部委員、蓑島委員） 【事務局】 生活環境部：亀井部長、桃井部次長 環境政策課：足立課長、岡本補佐、原田補佐、河野係長、宗岡係長、津田
4 傍聴者	村木市議会議員
5 内 容	1 議事 （１）防府市（第３次）環境基本計画の進捗について （２）防府市（第３次）環境基本計画の令和８年度中間見直しについて （３）その他の報告事項
6 会議内容 ※表現の一部は、簡略化している。	1 議事 （１）防府市（第３次）環境基本計画の進捗について （２）防府市（第３次）環境基本計画の令和８年度中間見直しについて ・事務局から「資料１」、「資料２」、「中間年度見直し案」により、計画の進捗、見直し方針、見直し内容等の説明 〔質疑応答〕 A委員：ごみに関する指標の説明があるとよい。 事務局：計画に注釈を入れる。 A委員：事業系ごみ排出量を減少させるための施策の取組状況を教えてほしい。 事務局：１社あたりの受け入れ量の制限や手数料の改定を実施している。 A委員：「ＣＯ₂削減ほうふ市民運動賛同事業所数」の目標数値検討にあたり、母数となる事業所数を教えてほしい。 事務局：約４２００事業所。 B委員：計画中間見直しで目標数値を修正している指標について、どのような考え方で検討したのか。 事務局：現時点で達成を目指したい目標数値とした。 C委員：市域から排出される二酸化炭素排出量のデータは３年遅れで公表される国の各種統計資料からの算出となり、直近のデータをもとにした市民や事業者への働きかけが難しい。なにか工夫できないか。 事務局：ご指摘の点を考慮し、巻末付録の「家庭や事業所でできる取組の例と年間ＣＯ₂削減量」に市民全員が取り組んだときの削減量を記載した。 C委員：気候変動で電力使用量が増える一方で、省エネの取組や再エネ発電の普及があり、トータルで見ると二酸化炭素排出量が下がっている。これをわかりやすく表現することはできないか。また、ごみについても、クリーンセンターのバイオマス化施設での処理や、これから始まるプラスチ

	ック一括回収の取組により全体としてごみ焼却量が減ることについても、同様にわかりやすく記述してほしい。 事務局：検討する。 D委員：レジ袋として活用できる指定ごみ袋の取組はすでに始まっているのか。 事務局：令和6年3月から令和8年3月にかけて実証実験を行ったところ。令和8年度中に新しいデザインの袋を販売予定である。 D委員：防府市が配布しているポイ捨て禁止等の啓発用看板は山道などでも設置されているのか。 事務局：設置されている。 E委員：啓発用看板の管理はどうしているのか。 事務局：設置者に管理をお願いしている。 E委員：工事現場等の騒音表示器の表示をわかりやすくできないか。 事務局：事業者の工夫により表示されているものである。 A委員：「合併処理浄化槽設置基数」の目標は基数でなく、最終的な目標基数に対する現在の設置基数としたほうがよいのではないか。 事務局：公表済みの「防府市循環型社会形成推進地域計画」に記載の数値を採用しているので、今回の見直しでの変更は難しい。 F委員：令和7年度の市役所の二酸化炭素排出量の報告はいつか。 事務局：10月の審議会で行う予定。 F委員：プラスチック資源一括回収の取組について、集めたプラスチックを処理する市内事業者の協力はいかがか。 事務局：市外の特定の処理が可能な工場に運搬し、処理することになる。 (3) その他の報告事項 ・事務局から次回開催日を10月下旬とすることを提案し、了承される
--	---